

誰もが「自分らしく」暮らせるまちへ

12月4日(日)から10日(土)までは人権週間。互いの人権を尊重し、差別や虐待のない社会を築きましょう。

人権とは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」。しかし、その人権をめぐり、暴行や虐待・差別などさまざまな問



題が発生。女性や児童、高齢者、障害者への人権侵害、インターネットを使用した人権侵害などが問題となっています。人権は日常の思いやりによって守られるもの。互いの人権を尊重し、差別や虐待のない社会を目指しましょう。

■困ったときは人権擁護委員へ相談を
人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて人権相談を受けるなどの活動をするボランティア。市内では23人が活動しています。

人権擁護委員(敬称略) 〓青木智教(関根町)、戸所仁治(総社町二丁目)、大澤修子(河原浜町)、田村嘉久(国領町二丁目)、岡田正子(富士見町石井)、中村明子(下細井町)、星野保貞(上泉町)、北爪玲子(粕川町西田面)、木村桂子(大友町三

互いを認め合う、それが人権の原点

この作品は、周りに支えられてピンチを乗り越えた自分の体験をもとに、違いを認め合い、助け合うことの大切さを知ってほしいという気持ちを込めて制作しました。作品をとおして、その思いが少しでも多くの人に伝わればうれしいです。



映画「クラッチヒッターみなみ」プロデューサー
青山 みのりさん(前橋工科大2年)

「まち映画」で人権を考える

図 県人権男女・多文化共生課 ☎ 027-226-2906

12月11日(日)午後1時から5時まで、大手町二丁目の群馬会館で、「人権啓発フェスティバル in ぐんま」を開催。人権の意義をテーマとし、市内・県内の小中高校生の出演で完成した映画「クラッチヒッターみなみ」の上映などを行います。対象は一般、先着400人。メールで申し込んでください。

申し込み=12月7日(水)(必着)までにメールで。参加者全員の市町村名・氏名・電話番号を記入し、県人権男女・多文化共生課 ✉ jinkenka@pref.gunma.lg.jp で



来年4月23日に開催

前橋・渋川シティマラソン

前橋公園を発着点に前橋・渋川シティマラソンを開催します。フルマラソンやファミリージョギングなど、いろいろな種目で走りを楽しめます。

図 スポーツ課 ☎ 027-898-5834

走りの楽しさ体感できます

フルマラソンが初めての人でも安心して競技に臨めるよう、ランニングスクールを開催し、ノウハウを伝えています。少しでも多くの人に、走る楽しさを知ってほしいですね。



スポーツ課
小林 訓

住宅災害調査

事例 ポストに、「住宅災害調査のお知らせ」というビラが入っていました。ビラには火災保険について書かれていますが、調査と関係があるのでしょうか。市役所からの案内を閲覧板で見た覚えもあります。調査を受ける必要はないのですか。

回答 災害調査という名称ですが、市役所などが実施する公的な調査ではなく、調査を受ける義務はありません。火災保険についての記載は、自然災害による住宅の損害が補償の対象になるからです。「保険を利用すれば自己負担はありません」と勧誘し、修理工事契約を結ぶケースがあります。台風や大雪などで住宅が被害を受けたら、自分で損害保険会社に連絡し、支払い対象かなど確認を。工事を依頼する際は、複数の業者から見積もりを取りましょう。

図 消費生活センター

☎ 027-230-1755

市民参加・市街地型の本大会は今回で4回目。毎回約5,000人以上が春の前橋・渋川を駆け抜けます。大会は来年4月23日(日)午前8時スタート、対象は小学生以上です。12月からは毎月1回、ヤマダグリーンドーム前橋などでランニングスクールを開催。講義と実技で走りの基本が学べます。詳しくは公式ホー



スポーツを楽しみながら縁結び

図 ヤマト市民体育館前橋 ☎ 027-265-0900

軽スポーツを通じて縁結びを行う、ときめきスポーツ婚活を開催します。日時は12月17日(土)午前10時から午後1時まで、25歳から50歳までの未婚の男女が対象で、定員はそれぞれ20人(抽選)、費用は3,000円です。
申し込み=12月2日(金)(必着)までにハガキで。教室名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒371-0816上佐鳥町460-7・ヤマト市民体育館前橋へ

